



KOBELCO

平成17年3月期 業績見通しについて

平成17年3月7日



株式会社 **神戸製鋼所**

KOBELCO
◆ KOBELCO STEEL, LTD.

報告事項

1. 2004年度業績見通しについて
2. 質疑応答



1. 2004年度業績見通し について



2004年度 業績見通し

(単位:億円)

	2003年度	2004年度見通し		
	実績	前回	今回	差異
売上高	12,191	14,400	14,500	100
営業利益	1,006	1,570	1,610	40
経常利益	507	1,050	1,100	50
特別損益	150	110	200	90
当期利益	220	500	500	0



'04年度)セグメント別売上高

(単位:億円)

	2003年度 実績	2004年度見通し		差異
		前回	今回	
鉄鋼関連事業	5,344	6,200	6,300	100
電力卸供給関連事業	301	600	600	0
アルミ・銅関連事業	2,433	2,850	2,850	0
機械関連事業	1,962	2,300	2,350	50
建設機械関連事業	1,839	2,050	2,050	0
不動産関連事業	431	330	330	0
電子材料その他	452	530	530	0
消去	574	460	510	50
合計	12,191	14,400	14,500	100



04年度)セグメント別営業利益

(単位:億円)

	2003年度 実績	2004年度見通し		差異
		前回	今回	
鉄鋼関連事業	528	880	890	10
電力卸供給関連事業	85	200	200	0
アルミ・銅関連事業	149	170	170	0
機械関連事業	14	55	85	30
建設機械関連事業	80	75	70	5
不動産関連事業	37	30	30	0
電子材料その他	81	135	135	0
消去	29	25	30	5
合計	1,006	1,570	1,610	40



ECOWAY

KOBELCO

セグメント別の状況



セグメントの概況 【鉄鋼】

(単位:億円)

	2003年度	2004年度		差異
	実績	前回	今回	
売上高	5,344	6,200	6,300	100
営業利益	528	880	890	10

- ・自動車、造船、電機等主力分野の需要が引続き旺盛。
- ・高水準の生産を継続。
効率向上、溶鋼処理設備投資等により需要家の増量要請に対応。
- ・販売価格改善が進展。
- ・原料コストは金属市況の上昇、配船状況悪化に伴い前回は上昇。



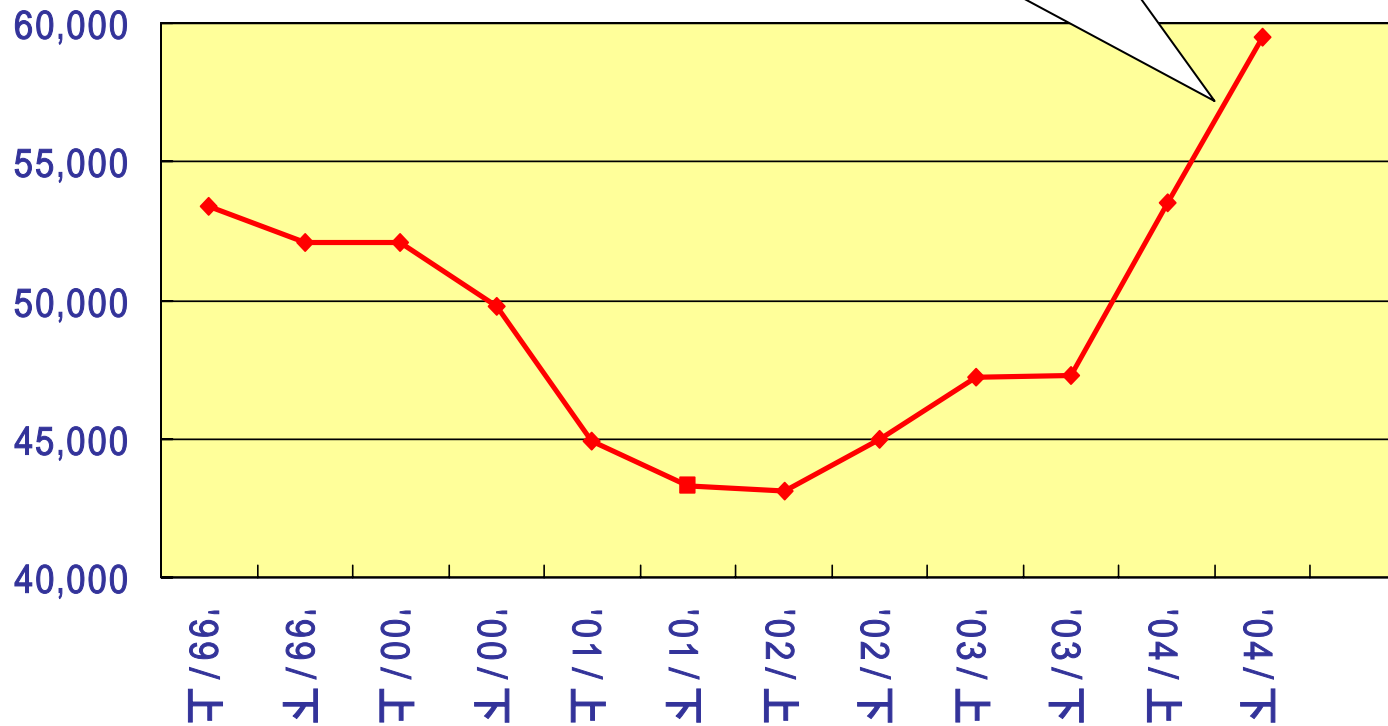
当社の生産・販売状況

	2003年度			2004年度見通し		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
全国粗鋼 (万 t)	5,543	5,557	11,100	5,637	5,676	11,314
全国在庫水準 (万 t)	553	499	-	538	1月末 550	-
国内自動車生産台数 (万台)	497	539	1,036	513	10-12月 261	4-12月 774
< 当社 >						
粗鋼生産 (万 t)	360	371	731	380	391	771
鋼材販売量 (万 t)	311	318	629	324	343	667
(内 国内)	(237)	(239)	(476)	(243)	(258)	(501)
(内 輸出)	(74)	(79)	(153)	(81)	(85)	(166)
鋼材販売単価 (円/ t)	47,200	47,300	47,300	53,500	59,500	56,600
鋼材輸出比率 (金額 [^] -入)	24.3%	24.5%	24.4%	26.9%	} 上期並み	-
(数量 [^] -入)	23.7%	25.0%	24.4%	24.9%		-

鋼材単価の推移

(単位:円/ト
ン)

対 04上 +6,000円/t
(53,500円/t 59,500円/t)





鉄鋼)営業損益差異内訳

(単位:億円)

【'03 '04】	前回	今回	差異
鋼材生産・出荷	630	710	80
原料価格アップ	330	350	20
増産対応	-	20	20
設備保全	10	20	10
その他	62	42	20
差異	352	362	10



セグメントの概況 【電力卸供給】

(単位:億円)

	2003年度 実績	2004年度		差異
		前回	今回	
売上高	301	600	600	0
営業利益	85	200	200	0

- ・2号機の営業運転開始。(4月1日)
- ・2基ともに、順調に操業を継続。



セグメントの概況 【アルミ・銅】

(単位:億円)
差異

	2003年度	2004年度		
	実績	前回	今回	
売上高	2,433	2,850	2,850	0
営業利益	149	170	170	0

- ・IT関連需要は調整局面。
来年度には本格回復に向かう見通し。
- ・自動車関連需要は引続き好調。



需要動向と当社販売状況

摘 要	' 0 3 年度実績			' 0 4 年度見通し		
	上 期	下 期	年 度	上 期	下 期	年 度
軽圧品需要(千トン)	1,195	1,208	2,403	1,244	1,208	2,452
アルミ板	694	686	1,380	725	684	1,409
アルミ押出	501	522	1,023	519	524	1,043
内 缶材(千トン)	226	198	424	245	187	432
伸銅品需要(千トン)	311	326	637	337	318	655
板 条	217	232	449	238	226	464
銅 管	94	94	188	99	92	191
エアコン内需(万台)			670			696

< 当社の販売状況 >

アルミ圧延品国内(千トン)	144	131	275	150	131	280
輸出(千トン)	45	43	88	41	37	78
銅圧延品(千トン)(銅管除く)	29	30	59	31	30	61



セグメントの概況 【機械】

(単位:億円)

	2003年度	2004年度		差異
	実績	前回	今回	
売上高	1,962	2,300	2,350	50
営業利益	14	55	85	30
受注高	1,837	2,450	2,670	220

・機械(ハード): 圧縮機・タイヤ機械を中心に引続き好調。

・環境: 水処理・廃棄物処理等の受注環境は厳しいものの、ソリューション型ビジネスで収益確保。

・エンジニアリング: 還元鉄プラント(天然ガスベース還元鉄)を連続受注。



受注状況

(単位:億円)

	2003年度	2004年度見通し		差異 -
	実績	前回	今回	
機 械(ハード)	767	850	900	50
環 境	657	660	660	0
エンジニアリング	413	940	1,110	170
合 計	1,837	2,450	2,670	220



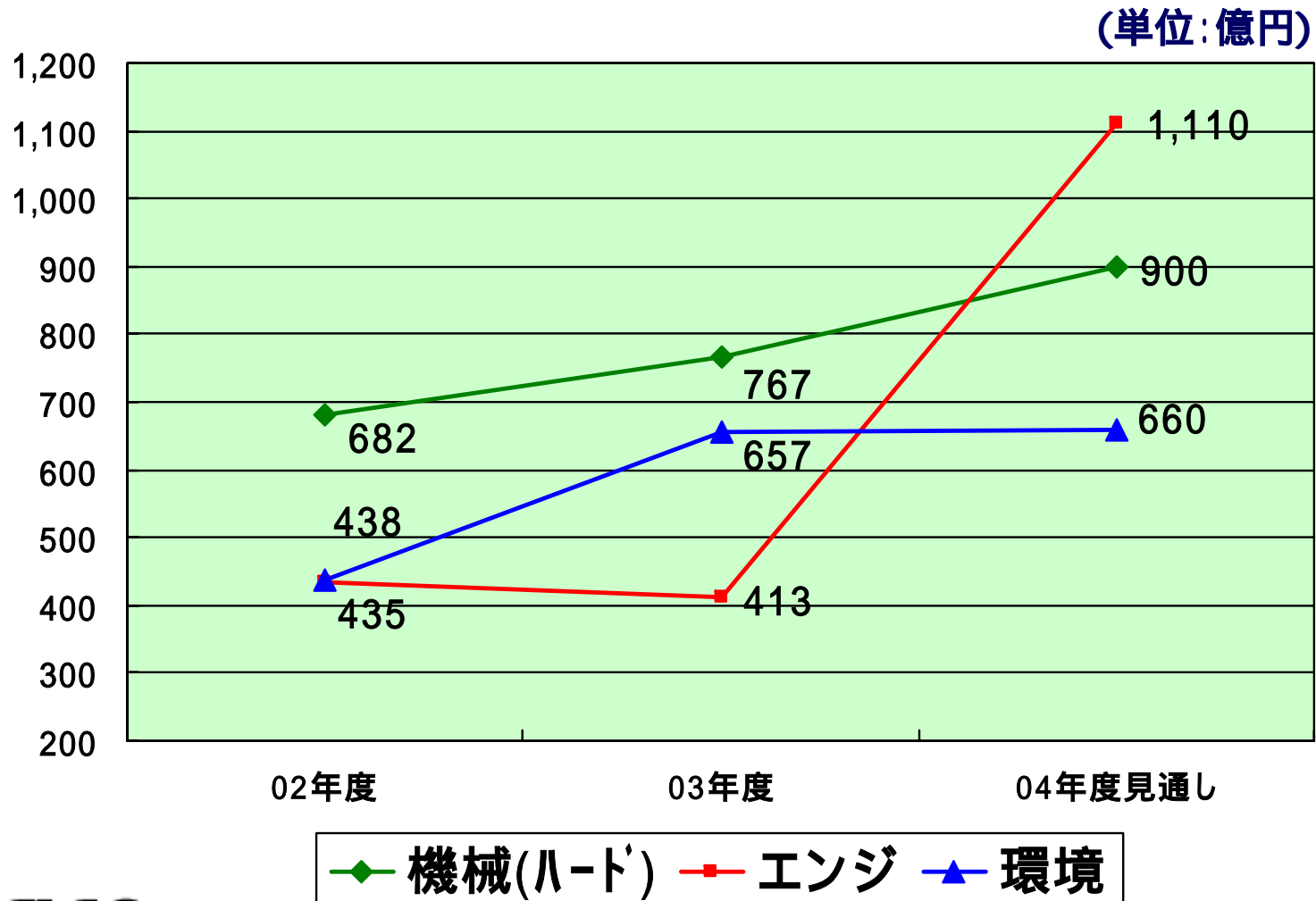
エンジニアリング分野

還元鉄プラント(天然ガスベース)の受注状況

	年産能力	契約金額	
サウジアラビア	176万 t	約350億円	(他社受注分含む想定金額)
マレーシア	154万 t	約90億円	(主要設備のみ)
カタール	150万 t	約280億円	
ロシア	140万 t	約150億円	(主要設備のみ, 他社受注分含む想定)
オマーン	72万 t		

当社グループ受注総額：約600億円

受注高推移





セグメントの概況 【建設機械】

(単位:億円)
差異

	2003年度	2004年度		差異
	実績	前回	今回	
売上高	1,839	2,050	2,050	0
営業利益	80	75	70	5

- ・国内ショベル市場は、総需要が伸び悩み。
- ・海外市場は、欧米・東南アジア・中東等が好調に推移。
- ・中国市場は、早期の回復が見込めない状況。

需要動向

(単位:台)

【ショベル需要】

	03年度実績			04年度見通し		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
国内	10,248	12,367	22,615	12,515	12,987	25,502
中国	17,357	12,495	29,852	20,428	5,211	25,639



セグメントの概況 【電子材料その他】

	2003年度 実績	2004年度		(単位:億円) 差異
		前回	今回	-
売上高	452	530	530	0
営業利益	81	135	135	0

・液晶パネル配線膜用ターゲット材(コベルコ科研)が引続き好調。



特別損益内訳

(単位:億円)

2004年度見通し

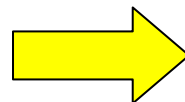
	前回	2004年度見通し			差異
		上期	今回 下期	年度	
退職給付過去勤務債務償却	70	34	36	70	0
投資有価証券売却益	30	26	4	30	0
固定資産売却益	20	0	30	30	10
退職給付会計変更時差異	130	63	67	130	0
たな卸評価損	-	-	100	100	100
固定資産減損処理	90	90	0	90	0
固定資産売却損	10	9	1	10	0
合 計	110	102	98	200	90

特別損益(たな卸資産評価損)

たな卸評価方法

<現 状>

後入先出法



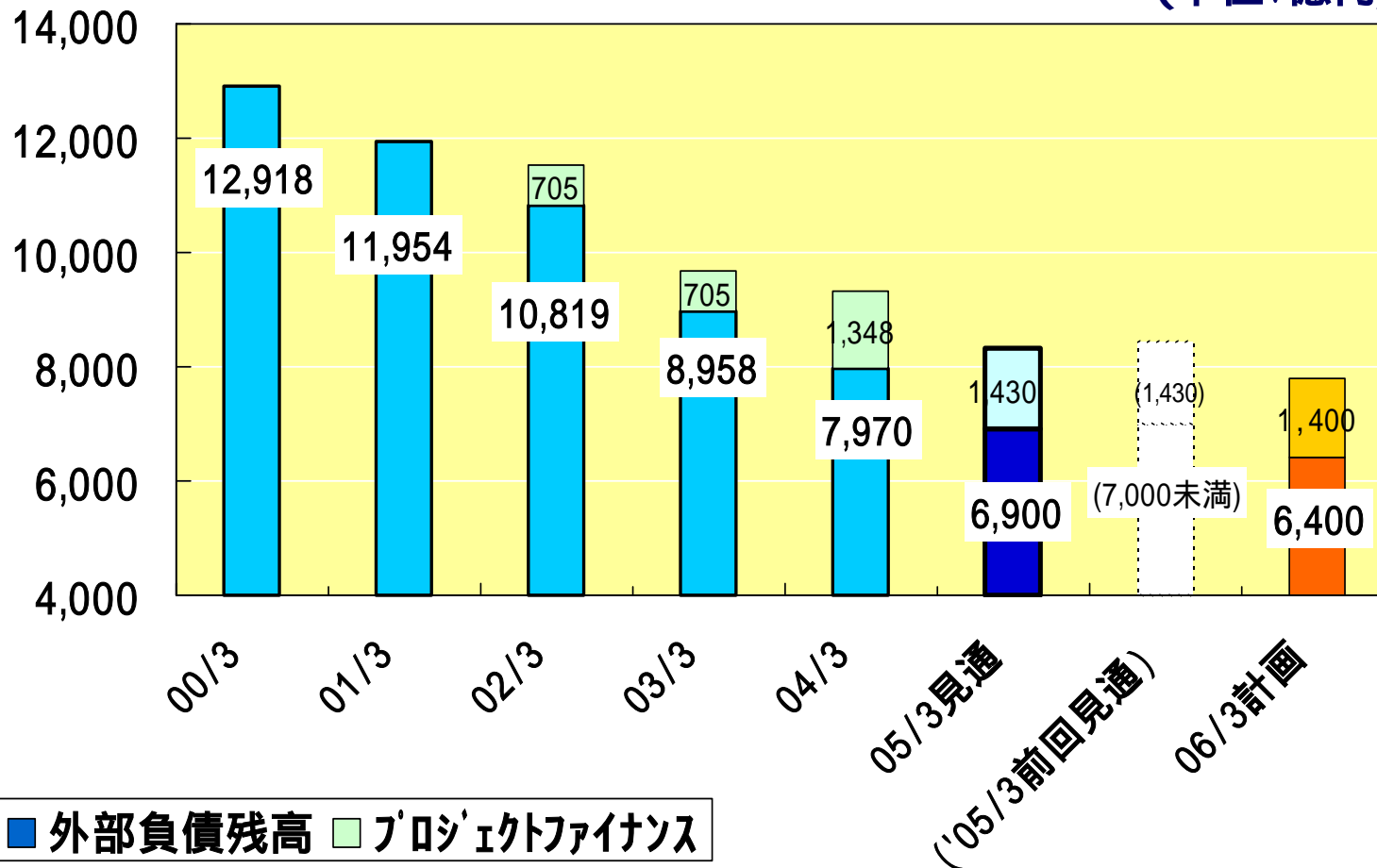
<05年度より>

総平均法

本年度、評価減を実施。(特別損失 100億円)

外部負債残高

(単位: 億円)





株主資本の状況

(単位:億円)

	03年度 末	'04年度 上期末	'04年度末 見通し	
資本金	2,181	2,181	2,181	} 3,665
資本剰余金	679	679	679	
利益剰余金	317	461	805	
株式等評価差額金	210	181	181	
為替換算調整等	86	97	97	
資本の部合計	3,301	3,405	3,749	

2004年度末 D / E レシオ : 1.9倍



株主資本の状況<単独>

(単位:億円)

	03年度 末	'04年度 上期末	'04年度末 見通し
資本金	2,181	2,181	2,181
資本剰余金	679	679	679
利益剰余金	385	456	631
株式等評価差額金	183	156	156
為替換算調整等	1	1	1
資本の部合計	3,427	3,471	3,646



ECO WAY

KOBELCO

ご 参 考



2004年度 業績見通し

(単位:億円)

	2003年度	2004年度見通し		
	実績	上期	下期	年度
売上高	12,191	6,847	7,653	14,500
営業利益	1,006	673	937	1,610
経常利益	507	451	649	1,100
特別損益	150	102	98	200
当期利益	220	156	344	500



セグメント別売上高

(単位:億円)

	2003年度 実績	2004年度見通し		
		上期	下期	年度
鉄鋼関連事業	5,344	2,940	3,360	6,300
電力卸供給関連事業	301	274	326	600
アルミ・銅関連事業	2,433	1,459	1,391	2,850
機械関連事業	1,962	919	1,431	2,350
建設機械関連事業	1,839	1,065	985	2,050
不動産関連事業	431	169	161	330
電子材料その他	452	252	278	530
消去	574	234	276	510
合 計	12,191	6,847	7,653	14,500



セグメント別営業利益

(単位:億円)

	2003年度 実績	2004年度見通し		
		上期	下期	年度
鉄鋼関連事業	528	349	541	890
電力卸供給関連事業	85	96	104	200
アルミ・銅関連事業	149	84	86	170
機械関連事業	14	2	83	85
建設機械関連事業	80	44	26	70
不動産関連事業	37	16	14	30
電子材料その他	81	64	71	135
消去	29	15	15	30
合 計	1,006	673	937	1,610



全社経常利益差異内訳(1)

(単位:億円)

	2003年度実績			2004年度見通		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	175	332	507	451	649	1,100
				└ +198 ─┘		

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+290	原料価格	60
総コスト削減 (変動費+30、固定費+0)	+ 30	高炉等廃却・解体	35
連結子会社・持分法+	50	増産対応	20
		設備保全	10
		その他	47
合計	+ 3 7 0	合計	1 7 2



鉄鋼)営業利益差異内訳(1)

(単位:億円)

	2003年度実績			2004年度見通		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
営業利益	226	302	528	349	541	890
				L +192 J		

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+250	原料価格	60
総コスト削減 (変動費+20、固定費+0)	+ 20	増産対応	20
その他	+ 12	設備保全	10
合計	+ 2 8 2	合計	9 0

全社経常利益差異内訳(2)

(単位:億円)

	2003年度実績			2004年度見通		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	175	332	507	451	649	1,100

+593

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+790	原料価格	350
総コスト削減 (変動費+100、固定費+20)	+120	緊急対策解除	70
連結子会社・持分法+220		高炉等廃却・解体	40
		増産対応	20
		設備保全	20
		その他	37
合計	+ 1, 1 3 0	合計	5 3 7

鉄鋼)営業利益差異内訳(2)

(単位:億円)

	2003年度実績			2004年度見通		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
営業利益	226	302	528	349	541	890



 +362

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+710	原料価格	350
総コスト削減 (変動費+60、固定費+20)	+ 80	緊急対策解除	50
為替影響	+ 10	増産対応	20
その他	+ 2	設備保全	20
合計	+ 8 0 2	合計	4 4 0



全社経常利益差異内訳(3)

(単位:億)

	2004年度前回			2004年度今回		
	上期	下期	計	上期	下期	計
経常利益	451	599	1,050	451	649	1,100

+50

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+110	原料価格	20
連結子会社・持分法	+ 20	増産対応	20
		設備保全	10
		その他	30
合計	+ 1 3 0	合計	8 0

鉄鋼)営業利益差異内訳(3)

(単位:億円)

	2004年度前回			2004年度今回		
	上期	下期	計	上期	下期	計
営業利益	349	531	880	349	541	890
						+10

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 80	原料価格	20
		増産対応	20
		設備保全	10
		その他	20
合計	+ 80	合計	70



‘04年度) フリーキャッシュフロー-見通し

(単位:億円)

	2003年度 実績	2004年度見通し		
		前回	今回	差異
営業キャッシュフロー	968	1,470	1,510	40
投資キャッシュフロー	126	490	490	0
フリーキャッシュフロー	842	980	1,020	40
IPP含む フリーキャッシュフロー	176	1,130	1,170	40

設備投資の状況

(単位：億円)

	2003年度 実績	2004年度 見通し	03-04 累計
設備投資計上(IPP除く)	488	660	1,148
対減価償却費	67%	93%	80%
" (IPP)	561	0	561
" (IPP含む)	1,049	660	1,709
(中期計画)	(980)	(450)	(1,430)

減価償却費(IPP除く)	732	710	1,442
" (IPP)	60	120	180
" (IPP含む)	792	830	1,622



中期経営計画の進捗状況

(単位:億円)

	02年度 実績	中期計画		03年度 実績	04年度 見通し
		03年度	05年度		
売上高	12,047	11,900	12,500	12,191	14,500
経常利益	354	430	800	507	1,100
ROA	3.4%	3.7%	6%	4.0%	7.1%
外部負債残高 (含むﾌﾟﾛﾌｧｲ)	8,958 (9,663)	8,290 (9,650)	6,400 (7,800)	7,970 (9,318)	6,900 (8,330)
D / Eレシオ	3.0倍	2.7倍	1.7倍	2.5倍	1.9倍
特長ある差別化 商品比率	30%	33%	40%	33%	37%



中期経営計画の進捗状況

(単位:億円)

	02年度	03年度	04年度	中期計画
【経常利益】	実績	実績	見通	05年度
鉄鋼	205	320	760	500
アルミ・銅	38	50	90	80
機械	10	50	120	120
その他	101	87	130	100
合計	354	507	1,100	800
【ROA】				
鉄鋼	4.0%	4.8%	10.0%	7%
アルミ・銅	3.7%	4.2%	5.8%	5%
機械	0.9%	1.6%	3.4%	4%
合計	3.4%	4.0%	7.1%	6%



ECOWAY

KOBELCO

单独業績



2004年度 見通し<単独>

(単位:億円)

	2003年度	2004年度見通し		
	実績	前回	今回	差異
売上高	8,011	8,900	9,000	100
営業利益	613	980	1,020	40
経常利益	252	600	630	30
特別損益	57	60	160	100
当期利益	158	330	290	40

2004年度 部門別売上高<単独>

(単位:億円)

	2003年度 実績	2004年度見通し		
		前回	今回	差異
鉄鋼・溶接	4,495	5,350	5,400	50
アルミ・銅	2,095	2,150	2,150	0
機 械	1,420	1,400	1,450	50
合 計	8,011	8,900	9,000	100

2004年度 部門別営業利益<単独>

(単位:億円)

	2003年度 実績	2004年度見通し		
		前回	今回	差異
鉄鋼・溶接	466	810	820	10
アルミ・銅	119	130	130	0
機 械	26	40	70	30
合 計	613	980	1,020	40

将来見通しに関する注意事項

- 本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。
- 上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいません。また、要因はこれらに限定されるわけではありません。
 - 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
 - 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
 - 為替相場の変動
 - 原材料の Availability や市況
 - 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M&Aなどの事業展開
 - 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化